

# 写真で見る 大学120年

## その1 明治期

明治21年(1888年)7月1日に創設された本学は、本年120周年を迎えます。11月22日には記念式典が行われ、他にも記念誌編集や記念講演会などの記念事業が計画されています。明治期、大正・昭和期、平成期の三回に分けて、「写真で見る大学120年」をお届けします。

明治21年(1888)7月1日、奈良県尋常師範学校が大府尋常師範学校より分離し創設される。事務所は県庁内に置き、校舎は奈良町大字登大路23番地。9月5日に事務所を校内に移し、その日より授業が開始された。生徒は大府尋常師範学



①



②



③



④



⑤



⑥

校より移籍した43名で、10月16日に初めて生徒を募集、13名が試験生となった。体操教室で開校式を挙行した11月18日が、本学の開学記念日となっている。翌明治22年1月14日には附属小学校が創設され、11月1日に開校の運びとなった。明治31年には、奈良県尋常師範学校を奈良県師範学校と改称、明治38年4月1日には奈良県女子師範学校が創設された。

写真①は明治20年の旧県庁庁舎で、中央が寧楽書院の建物である(奈良県庁所蔵)。写真②は明治26年当時の校舎全景で、東大寺大仏殿が見える。写真⑦は時代がはっきりしないが、全景がよくうかがえる。運動場であろうか、ずいぶん広い。写真③は、附属小学校正門の様子。写真④は、同じ頃の撮影で師範学校職員及び教生の写真。山高帽子に口ひげの先生、後ろの方が教生であろう。写真⑤は師範の生徒5人で、明治36年の撮影。写真⑥は女子師範学校の生徒さん。明治末期の撮影であるが、いつの機会に撮られたものであろうか。



⑦

120周年記念事業については、本学ホームページ(<http://www.narae.duc.jp/ADMIN/SOUNU/nue120.htm>)または総務課(電話0742-27-9108)にお問い合わせください。また、学生支援及び国際交流充実のための募金に関しては、会計課(電話0742-27-9110)にお問い合わせください。